

令和３年度第１回尼崎市保健所運営協議会議事要旨

- 1 日 時 令和４年３月２９日（火）午後１時３０分から２時３８分まで
- 2 場 所 WEB（Zoom）会議
- 3 出席者 （委員１１名）
朝田会長、北見副会長、並河委員、橋本委員、喜多村委員、
濱委員、三宅委員、堀内委員、仁科委員、宮村委員、白石委員
（事務局名１２名）
清水所長、鈴木部長、高橋課長、波多課長、堀池課長、名越課長、
田原課長、宮永所長、榎並課長、石井課長、新居課長、稲葉
（代理出席者２名）
疾病対策課、ヘルスアップ戦略担当
- 4 欠席者 （委員）田中委員、伴委員、野村委員、田村委員（委員４名）
（事務局）新家部長、村田課長（事務局２名）

5 議事録

- (1) 開会あいさつ
委員の出席状況、傍聴者の状況（なし）の報告
- (2) 尼崎市保健所長あいさつ
- (3) 各委員紹介、事務局職員紹介
委員名簿に基づき、事務局より説明
- (4) 会長、副会長選出（各１名）
会長…朝田委員、副会長…北見委員
- (5) 会長・副会長あいさつ
- (6) 議題

令和３年度尼崎市保健所等事業概要について 《資料１に基づき、事務局より説明》	
発言者	発言内容
会長	特定健診事業に関して質問致します。始まったのが、平成２０年だと思っていますので、もう１０年経っていると思いますが、一体この事業をやることによってどのような効果が生まれたのか、その辺りの評価を尼崎市だけでされるということはないのかなとは思っていますが、その辺りはどのようにお考えでしょうか。 ちょっと質問が難しすぎたかもしれませんので、とりあえず尼崎市の今

	の特定健診の受診率はどのようになっていますか。その辺は把握されていますか。
事務局	受診率は把握しております。今までは30%台を推移しておりましたが、コロナ禍ということもあり、令和2年度は26.9%でした。今年度（令和3年度）につきましては、令和2年度を越していこうということから、令和4年1月と2月に追加の集団健診を実施し、何とか30%に届くかなというところでございます。その中でいつも個別健診におきましては、医師会の先生方のお力添えをいただき、年度最後の2月3月について個別健診の方で受診率を伸ばしていただいております。いつもご迷惑をおかけしておりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
会長	3月になりますと毎年駆け込みでたくさん来られて、今少しコロナが落ち着いてきていて、今は余力が少しあるのでいいのですが、できればばらけて来ていただく方が、我々はありがたいと思っています。それとやっぱりこの健診をやってきて、どのような効果があったのかという、評価は難しいかもしれませんが、ぜひとも今後、その評価を一つの目標として考えていただけたらいいかなと思っています。
事務局	はい。承知いたしました。今現在10年経過してきておりますので、あらゆる角度で検証しているところでございます。その中で、先生方のご協力もあり、透析患者の方が減ってきているとか、高額治療の方も少し減りつつあるというところではございますが、今後においても、きっちりと分析をしながら、また先生方のご協力をいただきながら、頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
会長	それでは他に何かご質問ございませんでしょうか。
委員	精神保健のことで少し気になったことがございましたので、質問させていただきます。尼崎市としては、精神患者さんや長期入院患者さんのケアを地域へ移行するということをおっしゃっておりましたけれども、患者さんがそういった施設に入られた折に、どのような機関とどのような支援を行っているのかという、政策のようなことをお伺いしたいと思います。
事務局	精神疾患のある入院患者さんが地域に帰ってくることを地域移行と言うのですが、それに関しましては現在障害部門も含めて、協議の場をもっており、その中で具体的に安定して地域で暮らしていけるように、例えば訪問看護や、障害福祉サービスなどを活用しながら、地域に帰ってきて、過ごしていけるような環境を作るには、具体的にどういうことが必要かということをお話し合っているところで、その中でまた具体的な必要に応じたサービスとかも考えていけたらと考えています。

委員	現在進行中ということで、お受け取りさせていただいてよろしいですか。その中でまた私達地域で活動する者にとって、何かお役に立てることがあれば、また保健所を通じて、その地域におります民生委員や社協の方々との連携をさせていただければなと思っております。今の段階では、そういう事例を全然お聞きしておりませんので質問させていただきました。
尼崎市における「新型コロナウイルス感染症の現状」について 《資料 2 に基づき、事務局より説明》	
会長	私も現場におりまして、この第 6 波はとにかく若い感染者の方が多かったように思います。子供さんが感染して親御さんがもらって感染する、という一家が全員感染してしまうケースが非常に多かったです。それによって色々な社会インフラに対しても影響が大きく出ましたし、特に医療関係者の子供さんが感染すると、影響がものすごく大きく、我々も非常に困ったところでございます。 何か他にご質問ございませんでしょうか。 このコロナに関しましては、まだ終わったわけでもございませんし、第 6 波もまだ終わったわけでもありません。今回の第 6 波に関しては感染者の減り方が他の波とはだいぶ違って、スッと減少するのではなく、今のところダラダラと下がってきているなという感じが今私自身しております。
尼崎市における新型コロナワクチン接種について 《資料 3 に基づき、事務局より説明》	
会長	何かご質問はございませんでしょうか。
委員	ワクチン接種について、だいぶ進んできているなと思っています。ところで、副反応のところで死亡例が出ていますが、対象の方は若い方ですか。それとも高齢の方だったのでしょうか。その辺が気になります。教えてもらえる程度で結構ですので、よろしくお願いします。
事務局	はい。対象の方の年齢といたしましては 65 歳以上の方が 1 人で、50 代の方が 1 人という報告が上がってきております。
会長	他に質問はございませんでしょうか。4 回目の接種は具体的にいつ頃から始まるかという予定はまだ決まっていないのでしょうか。
事務局	具体的にはまだ決まっていないのですが、ただ国の方からは準備をしてくださいということで通知が来ています。今様々な報道等を聞いている中では、接種間隔を 6 ヶ月にするのか、他の国の状況を見て 5 ヶ月にするのかというようなところを、検討されているところです。また、それから対象者をどういう形にするのか、例えば高齢者だけとか、疾患のある方だけとするのか全部を対象にするのかということも、検討するというような

	ことで、先日、国の方の自治体への説明があり、そういった内容が書かれておりました。
会長	ワクチン接種に関しては、もう終わりがないように感じます。今回の3回目の接種は、第6波のピークと重なってしまいましたので、通常診療をして、ワクチンを打って、発熱外来をしてという状況で大変でした。4回目の接種はどのようになるかはわかりませんが、個人的には4回目の接種と第7波が重ならないことを切に希望します。 他に何かご意見はございませんでしょうか。
委員	よく私達の間では、1回目2回目にファイザーを、3回目にモデルナを接種するということが話題にあがっているのですが、やはり話し合いをすると、1回目2回目とファイザーなので3回目にもファイザーを接種したいという希望を多く聞きます。ですが、モデルナを接種したら効果が上がるという話もあるので、そういう信憑性はどうかをお伺いしたいです。
事務局	国の方からも、副反応や効果、抗体量の上昇率というようなことが報告されておりまして、報告の中ではやはりファイザーを2回接種した後にモデルナを接種した場合の方が抗体の上昇率は高いとなっています。前の資料では多分1.5倍ぐらいになるのではないかと報告されています。それから、先ほど申し上げられておりました、副反応の報告につきましても、やはりモデルナを3回目に接種された方のほうが発熱する割合が高いといったことも、一定調査されて報告されております。やはりそういった効果と、副反応というデメリットがありますので、そのメリットデメリットをよく考えていただいて、どちらがいいのかと選んでいただき、どちらかを接種していただければと思います。ただ実際色んな方がいらっしゃいまして、モデルナを接種しても発熱しなかった方もいらっしゃいますし、ファイザーを接種して熱が出たというような話も聞いたりしています。このように、個人によって若干違うところもありますが、全体の統計的には先ほど申し上げましたような、国から報告をされているような状況ではございません。
委員	ありがとうございました。私も患者さんに、どちらを接種したらいいのですかとよく聞かれますが、早く接種してもらえ方を接種しなさいとお伝えしています。多少は抗体量の違いはあるのかもしれませんが、ファイザーを接種したから駄目なわけでもありませんし。私は患者さんに聞かれたら、どちらでもいいので早く接種できる方を接種してください。というふうに説明しております。

以 上